

自然に抱かれた美しい小都市



小都市のパートナーシティ

ドイツ バイエルン州

ROSENHEIM

ローゼンハイム





あふれる彩り豊かな街

～ドイツ南部・ローゼンハイム～

ローゼンハイム市は、バイエルン州ミュンヘンの南東近郊に位置し、イン川と南にアルプスを臨む自然の景観に恵まれた小さな街です。

梅雨がなく、夏が短いこの街は北海道とよく似ています。夏でもカーディガンやジャケットがいるほど涼しい日があり、冬場はかなり冷え込みます。比較的温暖な5月下旬～10月中旬が旅行のベストシーズンといえるでしょう。

街には黄やピンク、青や緑などパステルカラーに彩られた建物が整然と並び、窓辺にはゼラニウムなどの花が飾られています。建物ひとつひとつが丁寧に保存されており、住人がいかに自分の街を大切にしてきたかを感じさせます。



昔から木材加工業が盛んで、その高い技術により「木工の町」として世界的に知られています。近年は情報通信技術にも力を注いでおり、大手企業の本社が置かれるなど周辺の経済圏の中心となっています。

経済発展を遂げる一方、広大な自然に囲まれ、スポーツなど様々なアクティビティを楽しむこともできる魅力溢れる街です。



information

面積 37k㎡ 人口 6万人

交通

高速道路「アウトバーン」や鉄道網の分岐点に位置し、北はミュンヘンを経てドイツ全土へ、東はオーストリア・ザルツブルグを経てウィーン、ハンガリーへ、南はオーストリア・インスブルックを経てスイス、イタリアへとつながる交通の要所となっている。ミュンヘン空港とザルツブルク空港へは45分。

見どころ

秋祭り (Herbstfest) は、毎年8月下旬から9月上旬にかけて約2週間にわたり行われる、ローゼンハイム市最大のイベント。移動遊園地も設置され、ビールを飲みながら夜景も楽しめる。またクリスマスシーズンには、ツリーのデコレーションやグッツ、グリューワインを売る出店が現れ、ロマンティックな雰囲気を楽しむことができる。

ホテル

パノラマシティホテル、ホテルウェンデルスタイン、パークホテル、ホテルサンガブリエルほか。

時差とサマータイム

日本との時差はマイナス8時間。日本の午前10時はドイツの深夜2時。サマータイム実施中(3月の最終日曜の午前2時～10月の最終日曜の午前2時)は、マイナス7時間の時差になる。

飲料水

水道水はそのまま飲用できる。しかし水が変わると体調を崩すこともあるので、ミネラルウォーターを利用した方が安心。スーパーやキオスクで様々な銘柄のミネラルウォーターが購入できる。

電圧

電圧は220Vで周波数50Hz、プラグはCタイプが一般的(一部にSEタイプあり)。日本国内用の電化製品はそのままでは使えないので、変圧器が必要。





Rosenheim-a walk round the old town



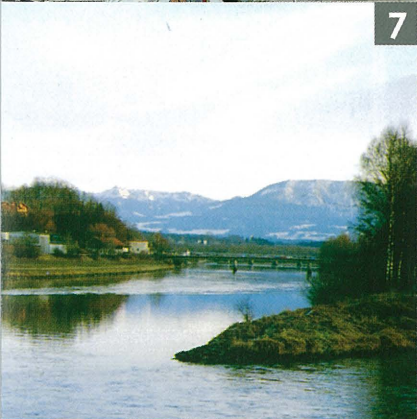
1



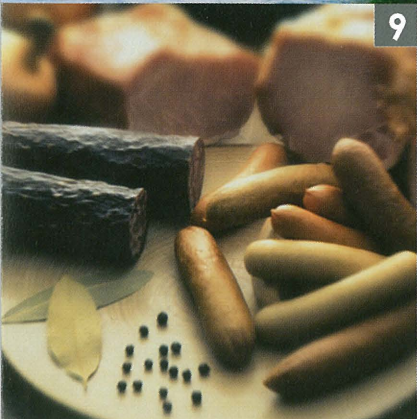
3



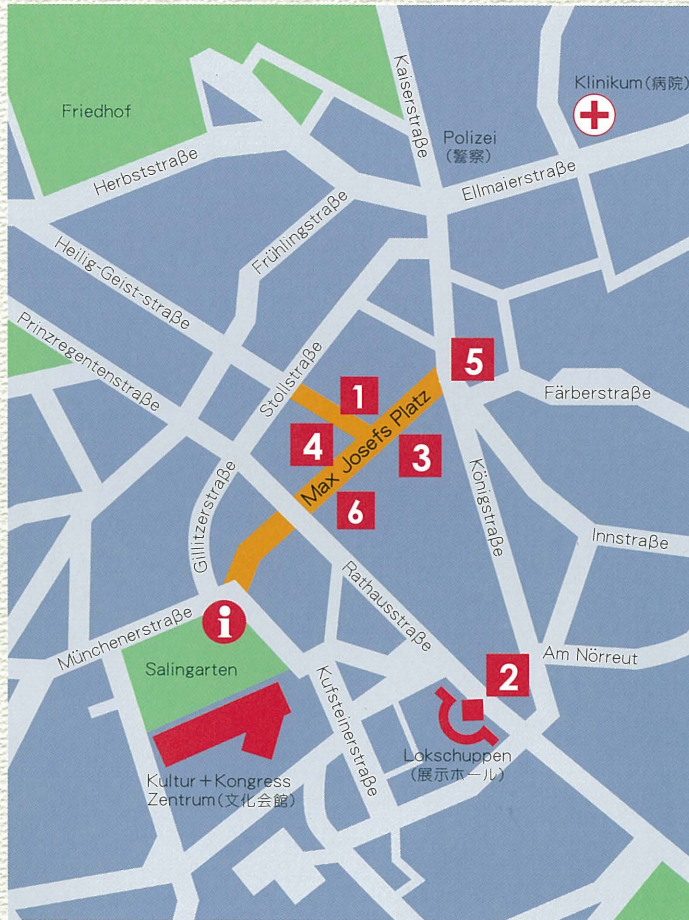
5



7



9



2



4



6



8



10

1 Max Josefs Platz (マックス ヨーゼフ広場)

古いたたずまいを残し「ローゼンハイム市のリビング・ルーム」といわれる街の中心地区。(ここでは車の進入が禁止され、自転車も降りなければならない)

2 Rathaus (市役所)

以前は駅として利用されていたが 1857年に改築され、現在は市庁舎となっている。

3 Pfarrkirche St.Nikolaus (ニコラス教会)

1450年に建てられた後、火災で損傷を受け、1642年から1652年にかけて再建され、今ではローゼンハイム市のシンボルとなっている。

4 Heilig Geist Kirche (ハイリッヒガイスト教会)

1449年に建てられた、街で最古のゴシック式建築の教会。

5 Städtisches Museum (市立博物館)

古代から現代までの生活用品から美術品まで、1万点余りの物品が展示。

6 Holztechnische Museum (木工博物館)

ローゼンハイム市は「木工の町」として世界的に知られており、館内には歴史や技術を紹介する展示がされている。

7 Inn (イン川)

スイス、エンガディン地方に発し、この地域を経てドナウ川と合流する。ローゼンハイム市は昔、この川を行きかう運搬船の交易路として栄えた。

8 Flotzinger Brau(フルーツィンガーブロイ…ビール工場)

1543年に創業され、歴史と伝統を持つビール工場。2004年5月アメリカで開催された世界ビール大会で3位に入賞している。

9 ソーセージ

世界的にソーセージで有名だが、ここローゼンハイムでは皮を切って中身を食べる白ソーセージが愛されている。

10 ケーニヒス湖 (ローゼンハイム市外)

ローゼンハイム市から南東へおよそ100km。日本画家の故東山魁夷氏が愛した場所でもある。

i : ホテルや施設等情報

<http://www.kuko.de/main.asp?main=tourist&c2=unterkunft&head=ACCOMODATION+DIRECTORY&lng=en>



パートナーシティ Partner City

市川市と
ローゼンハイム市

締結までの経緯

市川市は基本構想におけるまちづくりの目標である将来都市像を実現するため、平成14年9月、環境、文化、芸術における先進都市であり、市川市と課題や価値観を共有できるドイツ南部の諸都市を視察しました。その際、ローゼンハイム市のガブリエレ・パウアー市長より、市川市との交流を希望する旨申し出がありました。

平成15年5月、双方の意思確認のため、市長以下職員数名がローゼンハイム市を訪問。これまでの姉妹都市交流のような全面的な交流ではなく、交流分野を限定し、経済的・精神的負担のかからないパートナーシティ交流を進めていくということで、両市の意見が一致しました。

平成16年6月15日、市川市議会定例会において、ローゼンハイム市とのパートナーシティ締結についての議案が可決され、翌月、市長を团长とする公式親善代表団が同市を再訪。平成16年7月14日、ローゼンハイム市庁舎会議室で、パートナーシティ締結に関する盟約書の調印式を行いました。

さまざまな交流

サッカー交流

平成6年から、市川市の少年サッカーチームがバイエルン州サッカー協会の招待を受けて同州に遠征し、現地の少年達とともに夏季合宿に参加。スポーツ交流を進めてきました。



この市川市少年サッカーチームのドイツ遠征は、現在も、毎年夏休みの時期に行われています。

行政交流

平成21年4月にローゼンハイム市長以下23名が来市し、今後の交流に関する会議への参加、交流写真展等の視察を行いました。また、平成22年5月には市川市公式親善代表団がローゼンハイム市で開催されたガーデンショーに参加しました。



青少年交流

平成15年より、市川市青少年教育国際交流協会の主催(市川市共催)で、市川市公立中学校生徒とローゼンハイム市の生徒の相互交流が行われており、ホームステイや現地校への体験入学など有意義な交流が行われています。

ガーデンショー「ジャパndeイズ」

平成22年4月23日から10月3日まで、緑化政策の一環としてローゼンハイム市で開催されたガーデンショーに、市川市から総勢200名が参加しました。期間中の2日間を「ジャパndeイズ」とし、音楽や舞踊、茶道の実演や展示等、日本文化の紹介を行い、28,000人の来場者が訪れ大盛況でした。



市民交流

平成16年より市川市国際交流協会主催で行われています。これまでに市民団の相互派遣や、市川市においてドイツフェスティバル、ローゼンハイム市においてジャパndeイズがそれぞれ開催され、数多くの市民が友好を深めています。

